

森琴石 きんせき 南京畫家。天保十四年二月十九日攝津國有馬郡湯山生れ。大正十年一月二十四日歿（八四—九二）。謙熊、繁、宇吉夢。別號琴石逸民、聽香讀書樓、讀書廬、鐵橋道人。南京畫を修めて山水の長じりた。文展等の審査員を務めるなど、大阪南京畫界の重鎮として知られた。

著書に、『墨場 墨場題畫詩集』全四冊（明治十二年十一月—二十一年一月）刊、大阪・同盟舎藏—北村末助 出版、吉岡平助發兌）、『公私日用文章』（明治十二年十一月）二十九日版權免許、大阪・裕巖樓藏版—關原利助出版）等。

